

令和元年6月11日現在

機関番号：12608

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2016～2018

課題番号：16K01975

研究課題名(和文)カンボジアにおける精神科診断分類の背景についての研究

研究課題名(英文) Research on the background of psychiatric diagnosis classification in Cambodia

研究代表者

丸谷 俊之 (Marutani, Toshiyuki)

東京工業大学・保健管理センター・准教授

研究者番号：20642177

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,600,000円

研究成果の概要(和文)：統合失調症患者および患者のケアをする家族の生活の質(QoL)を測定する質問紙であるSchizophrenia Quality of Life Questionnaire 18項目版, およびSchizophrenia Caregiver Questionnaire のクメール語版を作成し, 良好な信頼性, 妥当性を得た。患者は就労, ポル・ポト政権以後の生まれであること, 家族は家計に余裕があり慢性疾患に罹患していないことが, 良好なQoLの予測因子であった。また, 疾患理解として黒魔術や先祖の霊魂の影響がごく普通に語られ, 適切な精神保健支援において文化的背景への配慮が重要であることがわかった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

カンボジアは, ポル・ポト政権時代(1975-79年)に精神医療を破壊され, 1994年以降非政府組織等が保健省と協力しながら支援を行ってきたが, いまだに特に地方においてはサービスは極めて限られており, 予算配分も不十分である。そのような状況下で, 疾病負荷の高い統合失調症の患者や家族の生活の質や社会人口学的要因との関連を調べたことで, 少ない資源をいかに有効に困っている人々の援助に当てていくかについて, 一つの指標を呈示できた意義がある。また, 統合失調症患者とそのケアをする家族のQoLを測定する質問紙のクメール語版を初めて作成したので, 今後より多くの人々の状況を調査することが可能となる。

研究成果の概要(英文)： We conducted linguistic validation on Schizophrenia Quality of Life Questionnaire 18-item version (S-QoL 18) and Schizophrenia Caregiver Questionnaire (SCQ) and analyzed correlations between QoL dimensions and socio-demographic aspects. The newly translated Khmer version of S-QoL 18 and SCQ showed good internal consistency reliability and concurrent validity. In patients, engaging in paid or profitable work or post-Khmer Rouge generation predict higher QoL. In family caregivers, insufficient household economic status or being affected by chronic disease predict lower QoL.

We also conducted qualitative analysis of interviews on patient's and caregiver's recognition of origin of schizophrenia onset and we found that beliefs in black magic and spirit of ancestors are still prevalent, which indicates importance of considering cultural background when giving mental health care support in Cambodia.

研究分野：文化精神医学

キーワード：統合失調症 生活の質 ケアをする家族の負荷 社会的決定因子 カンボジア

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19、CK - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

精神科領域では、米国精神医学会による「精神障害の診断と統計マニュアル」(DSM)、世界保健機関の「国際疾病分類」(ICD)という操作的診断分類が興盛し、従来の精神病理学に基づく見立てが軽視されていると言われて久しい。しかし、DSM, ICDを語る際にも適宜従来診断における診断技法や精神病理は参照されており、それを日本の精神科医はほぼ無意識に行っている。

それに対して、従来の診断学や精神病理学をまったく欠いた状態で、純粋にDSM, ICDが導入されている国があり、その一つがカンボジアである。カンボジアでは、ポル・ポト政権(1975-79年)の時代に精神医療を完全に破壊され、1994年に再開される時、国際非政府組織(NGO)によって操作的診断が導入された。

2. 研究の目的

当初の目的は、カンボジアにおいて操作的診断が人々の受療行動、文化的背景、医療資源、治療環境、精神病理にどのように関わっているかを調べることであった。しかし、すべての精神疾患について網羅的に調べることは不可能であるため、疾病負荷が高く、研究代表者のかかわる国際精神保健NGOの利用者で最も割合の高い統合失調症について調べることにした。その際、家族の負荷も高く、家族の支援がほぼないこともわかったため、患者をケアする家族の状況についても調べることにした。

3. 研究の方法

Transcultural Psychosocial Organization Cambodia (TPO Cambodia)の協力により、統合失調症患者および患者のケアをする家族の生活の質(QoL)を測定する質問紙であるSchizophrenia Quality of Life Questionnaire 18項目版(S-QoL 18)、およびSchizophrenia Caregiver Questionnaire(SCQ)のクメール語版を作成した。既にクメール語版の存在していた健康関連QoLを測定できるShort Form-12 Health Survey第1版(SF-12 v1)とレジリアンスを測定できるThe 10-item Connor-Davidson Resilience Scale(CD-RISC 10)とともに、患者、家族それぞれ59名の被験者に対して実施した。さらに、社会人口学的なさまざまな側面を聞き取り、QoLの指標との関連を調べることにした。さらに、疾病の発症要因の認識や、病気になる前は治療による生活の変化、現在の困り事と今後の要望について、インタビューを行い、質的分析を行うことにした。

4. 研究成果

(1) S-QoL 18クメール語版、およびSCQクメール語版は良好な信頼性、妥当性を示した。これらは統合失調症患者および患者のケアをする家族の生活の質(QoL)を測定する質問紙としては、初めてのクメール語版であり、今後カンボジアにおいてより多くの人々の状況把握に使用されることが期待される。

(2) 患者については、就労している(家業の一端を担うことを含む)ことや、ポル・ポト政権以後の生まれであることが、良好なQoLの予測因子であった。家族については、家計に余裕がないこと、慢性疾患に罹患していることが、QoL悪化の予測因子であった。今後少ない資源を患者、家族の支援に当てるにあたり、考慮すべき点をデータとして示した意義がある。

(3) 参加者はすべて医療機関で西洋的な精神医療を受けている患者とその家族であったが、統合失調症の疾患理解として黒魔術や先祖の靈魂の影響、あるいは「考えすぎる」ことの影響がごく普通に語られた(カンボジアにおいては、目的語なしで「考えすぎる」という表現をよく用い、それは心身によく影響を及ぼすことと認識されている)。そのため、今後も適切な精神保健支援を実施するためには、文化的背景への配慮が重要であることが示された。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計0件)

現在投稿中である。

〔学会発表〕(計3件)

Toshiyuki Marutani, Sotheara Chhim, Akihiro Nishio, Akiko Nosaki, Yasuko Fuse-Nagase. Quality of life and living conditions among family caregivers of patients with schizophrenia in Cambodia. The 18th International Congress of the Pacific Rim College of Psychiatrists (PRCP 2018), Yangon, Myanmar, 2018.

丸谷俊之. カンボジアにおける統合失調症患者と家族についての調査と支援(シンポジウムカンボジアのメンタルヘルス支援-カンボジアにおける地域精神保健包括ケア活動モデル作り). 第25回多文化間精神医学会, 成田, 2018年.

Toshiyuki Marutani, Sotheara Chhim, Akihiro Nishio, Akiko Nosaki, Yasuko Fuse-Nagase. Quality of life and living conditions among schizophrenia patients and family caregivers in Cambodia - An interim report. World Psychiatric Association The 17th World Congress of Psychiatry, Berlin, Germany, 2017.

〔図書〕(計 0 件)

〔産業財産権〕 (該当なし)
出願状況(計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年：
国内外の別：

取得状況(計 件) (該当なし)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等 なし

6. 研究組織

(1)研究分担者

研究分担者氏名：西尾 彰泰
ローマ字氏名：NISHIO, Akihiro
所属研究機関名：岐阜大学
部局名：保健管理センター
職名：准教授
研究者番号(8桁)：90402172

(2)研究分担者

研究分担者氏名：布施 泰子
ローマ字氏名：FUSE, Yasuko
所属研究機関名：茨城大学
部局名：保健管理センター
職名：教授
研究者番号(8桁)：60647725

(3)研究分担者

研究分担者氏名：野崎 章子
ローマ字氏名：NOSAKI, Akiko
所属研究機関名：千葉大学
部局名：大学院看護学研究科
職名：講師
研究者番号(8桁)：90361419

(2)研究協力者

研究協力者氏名：

ローマ字氏名：

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。